

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月25日 (2019.4.25)

【公開番号】特開2019-37467(P2019-37467A)

【公開日】平成31年3月14日 (2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2017-161760(P2017-161760)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月19日 (2019.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、  
表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段と、  
前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段と、  
前記表示手段とは異なる演出手段を用いた補助演出を実行可能な補助演出手段とを備え

、  
前記補助演出手段は、  
前記表示手段の表示に関する表示補助演出と、異常の発生の報知に関する異常報知補助演出とを実行可能であり、  
所定事象の発生により前記表示手段の表示が停止する停止期間に応じて前記表示補助演出を遅延して実行可能であり、  
前記停止期間においても前記異常報知補助演出を実行可能であり、  
複数の異常を判定可能な異常判定手段をさらに備え、  
前記補助演出手段は、前記異常報知補助演出を、前記異常判定手段により判定された異常に応じて異なる演出態様により実行可能である、  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

( 1 ) 上記目的を達成するため、本願の請求項に係る遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段（例えば演出データメモリ 1 2 3 など）と、前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段（例えば CPU 1 3 1、VDP 1 3 5 など）と、前記表示手段とは異なる演出手段を用いた補助演出を実行可能な補助演出手段（例えば

スピーカ 8 L、8 R、演出用点灯役物 9 0、演出用可動部材 3 2 A、3 2 B など)とを備え、前記補助演出手段は、前記表示手段の表示に関する表示補助演出(例えば動画像再生によるリーチ演出など)と、異常の発生の報知に関する異常報知補助演出(例えばエラー報知 E H 1 など)とを実行可能であり、所定事象の発生により前記表示手段の表示が停止する停止期間に応じて前記表示補助演出を遅延して実行可能であり(例えば図 2 7 における動画像再生開始、動画像再生終了を参照)、前記停止期間においても前記異常報知補助演出を実行可能(例えば図 2 7 における動画再生開始より前にエラー報知 E H 1 を実行可能)であり、複数の異常を判定可能な異常判定手段(例えば演出制御メイン処理のステップ S 6 1 にてエラー報知処理を実行する CPU 1 3 1 など)をさらに備え、前記補助演出手段は、前記異常報知補助演出を、前記異常判定手段により判定された異常に応じて異なる演出態様により実行可能である(例えば図 2 8 を参照)。

このような構成によれば、適切な演出を実行できる。